

補助事業番号 26-1-049  
補助事業名 平成26年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人 中近東文化センター

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本人による古代オリエント史の「年表（文化編年）」の再構築を目指し、自らの「年表」により歴史を語ることを一つの目的とする。

併行して出土遺物、遺構の保存、修復、つまり「文化財保存」に重点を置く。そして日本、トルコ、欧米の次世代を担う若手研究者を養成し、各国の若者が世界に目を向ける切っ掛けとなることをもって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ① アナトリア考古学研究所（トルコ共和国）を拠点とした国際交流活動

本補助事業は、トルコ共和国のほぼ中央部に位置するカマン・カレホユック遺跡の考古学的発掘調査を通して行っているもので、発掘調査で出土した遺物、建築遺構等の文化財を取り扱うこと、発掘区に保護屋根を架け遺跡を保護することを体験しながら若手の研究者を養成し、また各国の研究者との直接の交流を通して専門知識等学術面の向上を目指しています。当該年度の現地を拠点とした国際交流活動は、6月26日に現地にトルコ国内および欧米からの研究者や保存修復専門家が集まり、本格的に始まりました。

具体的な活動は、当研究所の遺跡、遺物の保存修復活動、および考古学フィールドコース、博物館学フィールドコース、「考古学の授業」等です。特に考古学フィールドコースは日本の若手研究者、大学生を対象としており、基本的な授業は

- ① 研究所内での講義（考古学、保存修復学等）
- ② 現場に入って実際の発掘作業を体験する体験形の授業
- ③ カマン・カレホユック考古学博物館での授業（アナトリアの歴史や博物館の役割）

の3つです。当該事業は、若手研究者、学生たちにとって国際的な視野に立ち、今後の文化財保存や修復の必要性、そして世界に目を向けた活動の重要性を考える切っ掛けとなってくれるものと確信しています。

人材の育成には膨大な時間が必要であり、このような活動を地道に毎年繰り返して行くことが重要と考えています。



考古学フィールドコースの授業



発掘現場での実習



海外から参加した学生による研究発表も行われる



現場での「考古学の授業」

## ②トルコ調査報告会・研究会の開催

[http://www.jiaa-kaman.org/jp/conference\\_2014\\_2\\_1.html](http://www.jiaa-kaman.org/jp/conference_2014_2_1.html)

<http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html> - 150220

当該年度は、2015年2月11日、2014年度トルコ調査報告会として発掘調査の成果を報告し、2月12日、第25回トルコ調査研究会では、参加隊員による当該年度の研究成果を発表しました。特に研究会では、ノッティンガム大学でガラスを専門に研究しているジュリアン・ヘンダーソン博士がビュクリュカレ出土のガラスの組成分析について発表し、日本の研究者との交流を深めました。

前年度に引き続き「報告会・研究会」は、三鷹市芸術文化センターを会場としましたが、250席がすべて埋まるほどの方々に参加いただきました。研究者やマスコミ関係者、地元の方々、また遠くからの一般参加者もあり、当研究所の活動をより広く知ってもらうことができたと感じています。



2014年度トルコ調査報告会



トルコ調査研究会では若手研究者による発表が行われる

## 2 予想される事業実施効果

### ①アナトリア考古学研究所（トルコ共和国）を拠点とした国際交流活動

当該事業の一つである考古学フィールドコースに参加した学生たちにとって、日本国内の現場に比べて規模の大きな発掘現場での作業、地元の発掘労働者や学生たちとの交流、欧米の研究者や研究者を目指す学生たちとのミーティングは、非常に刺激的で貴重な体験だったと思われます。

また、海外からの参加者にとっても、慎重に現場を掘り下げる日本の緻密な発掘システム、その発掘した層位を考察し、層序をまとめて編年を構築（年表を作成）して行く作業には学ぶべきところがあったのではないのでしょうか。

今後は、参加した若手研究者や学生が当該事業で得たものを生かし、国内の発掘現場や大学、研究機関、教育機関において、現場をリードしていく存在に成長していくことが期待されます。

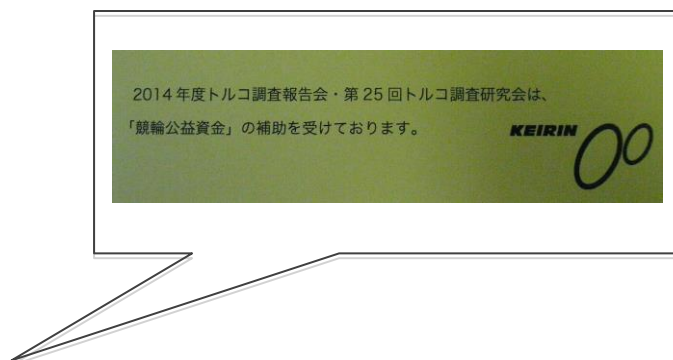
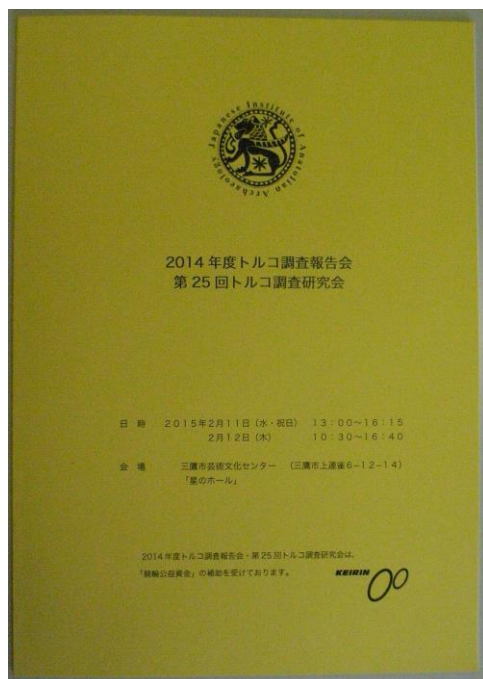
### ②トルコ調査報告会・研究会の開催

参加者の多くは一般の人々ですが、近年では、地元周辺（三鷹市、武蔵野市等）からの参加者はもとより、都内や近隣県、さらには地方からもご参加いただいています。当該事業は、一般の方々、マスコミの注目を集めることで、古代の中近東のみならず、現代の中近東にも人々の目を向ける効果も生んでいるのではないかと考えます。

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

資料集 『2014年度トルコ調査報告会・第25回トルコ調査研究会』



### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 公益財団法人 中近東文化センター  
(コウエキザイダンホウジン チュウキントウブンカセンター)

住所 : 〒181-0015  
東京都三鷹市大沢 3-10-31

代表者 : 理事長 阿部 知之 (アベ トモユキ)

担当部署 : アナトリア考古学研究所 (アナトリアコウコガクケンキュウジョ)

担当者名 : 事務担当 吉田 知子 (ヨシダ トモコ)

電話番号 : 0422-32-7665

F A X : 0422-31-9453

E-mail : [tokyo@jiaa-kaman.org](mailto:tokyo@jiaa-kaman.org)

U R L : <http://www.jiaa-kaman.org/>